

平成29年度第1回九重町総合教育会議

議事録

■会議の概要

1. 日 時 平成29年11月30日(木) 13:30~14:45

2. 会 場 九重町役場庁舎 3階 301会議室

3. 出席者 九重町長 日野 康 志
九重町教育長 濱 田 淳
九重町教育委員 佐藤 住 子 (教育長職務代理者)
九重町教育委員 佐藤 テイ子
九重町教育委員 甲 斐 充
九重町教育委員 吉 光 豊
(事務局)
総務課長 時 松 賢一郎
総務課行政GL 佐藤 信 一
教育振興課長 熊 谷 博 文
教育振興課参事 小 幡 英 二
教育振興課教育振興GL 江 藤 寿 雄
教育振興課教育指導GL 尾 方 道 晃
社会教育課長 日 野 優 一
社会教育課社会教育GL 佐藤 晶 子
(会議公開にかかる参加者)
なし

4. 会議の次第 1) 開会

2) 町長あいさつ

3) 議題

①児童生徒の諸課題に関する調査結果について・・・別紙資料1

・平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の結果について

・平成29年度いじめ及び不登校状況調査(1学期)の結果について

・九重町いじめ防止基本方針の概要について

②児童生徒の学力向上について・・・別紙資料2

- ・平成29年度大分県定着状況調査の結果について
- ・平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ③平成30年度教育委員会の主要事業の概要について
 - ・学校教育関係・・・別紙資料3
 - ・社会教育関係・・・別紙資料4

4) その他

5) 閉会

■会議録

(説明及び発言等内容は、要点のみとしています。)

発言者	発言内容
<p>1 開会 時松課長</p>	<p>本日の進行・司会をさせていただきます総務課長の時松です。それでは平成29年度第1回九重町総合教育会議を開催いたします。町長挨拶。</p>
<p>2 あいさつ 日野町長</p>	<p>それでは改めて皆さんこんにちは。秋も一気に進んで冬になろうかという状況になりました。また紅葉の季節も限られた日数であったと聞いていますし、季節のバランスが壊れて、今年については1年を通じて長い期間雨が降ったり、集中豪雨があったり各地に被害が出ております。そうした状況を踏まえて、やはり地域の安心・安全を守っていくためにも災害に対する備え、特に減災そして予防に力を入れていかなければならないと考えています。</p> <p>今日はお忙しい中、九重町総合教育会議に教育委員の皆さんにご出席をいただいたことにまずもってお礼を申し上げます。</p> <p>ご存じの通り今回あってはならないことが2件ほどございました。職員の酒気帯び運転と、スピード超過による免停です。不祥事が続いたという事で本当に残念でなりません。職員と私共も綱紀粛正を図りながら、気を引き締めてこれからも町民のための行政に臨んでいきたいと考えています。</p> <p>今年は、緑陽中学校の生徒達が活躍されました。野球部は玖珠郡で優勝し、大分県の大会で3位に入賞しました。3位決定戦では日出町の、千人以上の規模の学校に大差で勝ち、九州大会には私も応援に行きました。5対0という残念な結果ではありましたが、内容は緊迫する試合で、本当に充実したクラブ活動を送っていただいたと思います。また、吹奏楽部も大分県で堂々の金賞を取り、九州大会では銀賞という活躍をしています。他にも少年の主張で、1位2位となり、県下の中で緑陽中学校の活躍が目立った年でもあったと思っています。</p> <p>しかし、緑陽中に入ってすぐにそういう状況になったのではございません。町全体で0歳児からの教育を進めて行き、多くの関係者のご協力があったか</p>

	<p>らだと思っています。そのような事をしっかりと認識し、これからも子供達が活躍でき、そして子供達が地域に帰って来れるよう私共も支援し頑張っていこうと思っています。本日は、皆さんでご協議をよろしくお願いします。</p>
時松課長	<p>議題に入る前に、申し遅れましたが、小幡教育委員が所用のため欠席です。それでは早速議事に入っていきたいと思います。まず議題1の児童・生徒の諸課題に関する調査結果について、尾方リーダーが説明します。</p>
3 議題	
尾方リーダー	<p>【議題1の①②③を資料に基づき説明】</p>
時松課長	<p>議題1の児童生徒の諸課題に関する調査結果について説明がありましたが、ご意見等いただきたいと思います。何かご意見は。よろしいですか。</p> <p>(なし。)</p> <p>再度振り返って何かあればご審議いただきたいと思います。次に議題2の児童生徒の学力向上について、小幡参事が説明します。</p>
小幡参事	<p>【議題2の①②を資料に基づき説明】</p>
時松課長	<p>議題2の児童・生徒の学力向上について小幡参事から説明がありましたが、何かご意見・質問等があれば。</p>
佐藤テイ子委員	<p>自分に自尊感情が低いというのが毎回ですよね。子供達が具体的に何をどう思っているのか知りたいですよね。遠慮して書いているのか、本当に自分は駄目と思っているのか、毎回これにひっかかります。何かそこが心配です、調べる方法があれば。</p>
小幡参事	<p>本年度の分はありませんが中学校を統合した年、25年度に1回その調査をしています。調査が4月の最初で、担任が代わり学級も代わって、機能していない状態での調査のため低いようなので、3学期に同じような調査をかけてみたら、かなり上がっているという状況がございますので、今回も年度当初でもあり低い結果が出たのであれば、また調査をかけなければいけないのかなと思います。</p>
時松課長	<p>その他ないでしょうか。</p>
佐藤住子委員	<p>最後のページの小学校・中学校の低学力層の支援ですけど、長期休業中・放課後の補充学習の取組ですが、冬休みはどうなっているのですか。</p>

小幡参事	冬休みは、年末年始の休暇で時間がありませんので夏休みが中心です。 放課後につきましては、各学校で補習をしているというのは聞いています。
時松課長	他にありませんか。
甲斐委員	生徒は学校の先生に相談できないとなっているのですよね。これは先生が忙しくして、個別にゆっくり話ができないという意味になるのですか。
小幡参事	ここは少し気になったので、学校毎に確認をしました。担任が変わったという学校はここが低いです。先ほども言いましたように年度当初に調査しますので学級担任が変わり、クラスの雰囲気が変わると低い数値が出るのかと思われま。全ての学校が低いという事ではございませんでした。
時松課長	その他。よろしいですか。
佐藤住子委員	今、学級担任という事で話がありましたけど、私はA小学校に時々行かせてもらおうと、中堅の先生でとても雰囲気もいいし、他の先生に及ぼす影響も、この先生のおかげと思うところもございませので、是非そのような先生を伸ばして、周囲に良い影響を与えていただけたらいいと思っております。
時松課長	その他ご意見があれば。最後にまとめて、またご意見を伺いますので議題3の平成30年度教育委員会の主要事業の概要について、学校教育関係を熊谷課長が説明します。
熊谷課長	【議題3の①を資料に基づき説明】
時松課長	教育委員会の学校教育関係について説明がありました。まず、この分について審議をいただきたいと思ひます。
佐藤テイ子委員	中学校の英語があまり芳しくないというのは以前からありましたけれども、小学校に入るとそれが教科になるとか、ぜひここにありますように、外国語教科に向けた教員支援スタッフを、1名と言わず何名でもお願いしたいと思ひます。外国の人を雇うのも勿論良いです。会話をするときには必要でしょうけど、机上ではやっぱり基礎からきちんと教えてもらえるような人が必要ではないかと思ひます。そういう条件に揃う人がいるのかわかりませんけども、ぜひ探してほしい。町長さんお願いします。
佐藤住子委員	この前、山口県にコミュニティの研修で行きました。そのときも子供達と地域の人達が英語の勉強をしていました。素人の人達が子供達のグループの

熊谷課長	<p>中に1人2人入って、地域の方も少しは勉強しているでしょうけど、入ってくれているだけでもいいです。中には英語の先生も入っておられていいなと思いましたが、まず小学校で英語があって欲しいという気持ちになってくれて、授業として組み込まれていけたらいいなと思いますので、楽しい授業ができる素晴らしい先生をよろしくお願いします。</p> <p>私共もスタッフについては、現場の先生達の意見を聞き、状況を見たなかで、何とかしてあげたいと思っています。しかしながら、本来は県がやるべきだと基本的には考えています。県に対しては皆さんも言っていただきましたし、私共も担当レベルでもお願いしています。中学校の英語の先生を小学校に回してくれ、早く言えばそう言った事をお願いしています。県がどうしてもできない時には現場は混乱し、そういうときに、町は何らかの対策を取らなければならないということで課題として挙げております。もしも、例えば財政上可能で、1人雇っていいとなったとき、今度は人材が非常に厳しいなと考えています。先程、佐藤住子委員からもありましたけど、外国語活動に地域の力を借りるとするのは、ALTも含めて非常に大切であり、有効的だと私共は考えています。光市のように地域の人たちが学校へ入ってきて、子供達と触れ合うのは理想的な形だと考えています。ただ教科になったときに、どれだけそこが見込めるかというのは、非常に難しい問題だろうと思っております。小学校の先生が、英語が教科になったときにどれくらいスキルがあるか、県がどんな対策を考えているか、この2年間で県がどれだけ手を差し伸べてくれるかという事を注視しながら考えていきたいと思っております。</p>
時松課長	<p>その他なにか。</p>
吉光委員	<p>午前中の学校訪問の際、私はB小学校でしたけど、校長先生・教頭先生と話をしている中で、1年生の中に要支援が必要な子がいて、少しざわついていう状況があり、1年生なので子ども園の段階から連携が必要だということで、こども園の方に話をしたら、10年前まではちょっと元気のいい落着かない子がいるなという認識が、今はそうではなくて発達障害である。病気として認定されるか、されないかで随分違ってくるということでした。来年のB小学校に入ってくる子供さんの中に、知能テストで6人ほどかなり数字が悪いと言われていました。九重町はいろんな面で支援して下さって各校に支援員さんがいますけど、今後は、もっと必要になるかもしれないので、国や県にもっと要請をした方がいいのかと、来年の予算を立てる中でその辺の聞き取りをもっとしてくれるといいかなと感じました。</p>
佐藤住子委員	<p>同じことですけど、今日私はC小学校を訪問致しました。学年に偏りはあるけれど、少人数の中でもそれくらい支援を必要としている。保護者との話</p>

尾方リーダー	<p>で、保護者からすると区別はあまりしてほしくないけれど、わかりやすい授業の少人数学級にした方がいいですよという先生達の働きかけもあるようです。その中で支援員が必要だということでした。</p> <p>平成27年度就学支援委員会にかかった児童生徒が45名、28年度が60名で、今年度は78名です。この3年間ですごく増加をしています。来年度の1年生は17名程名前が挙がっております。先程の委員さん達が心配されるのは当然だと思います。やはりまずは学校と保護者に子供の様子を伝え、その中で話をさせていただいて信頼関係を作っていきながら支援員さんの措置だとか考えていかなければならないし、特に就学してくる児童につきましては、こども園の方に出向いて話をしています。町外の保育園・幼稚園に通っている子供についての情報は中々入ってきません。今、玖珠町の幼稚園・保育園に通っているお子さんにもやはり支援が必要だという事でそちらの幼稚園からも連絡をいただいて、何度か子どもの様子を見に行き、先生と保護者・私達で話を勧めているところです。その中でももう少し詳しい検査をし、その結果を待って、小学校に上がったときには支援員さんに付いてもらい、子供が落ち着いて勉強できる環境を作っていきましょうという話を進めているところです。</p>
時松課長	<p>取組についてのご説明がありましたでしょうか。その他ありましたら。</p>
佐藤テイ子委員	<p>児童・生徒の不登校支援に関することですけれども、玖珠町との共同運営が整うまでの間と書いていますが、共同運営を目指しているわけですか。支援にあたる人が、玖珠郡全部に行くという事になるわけですね。そうすると今よりも支援が粗くなるかと思いますが、なぜそれを目指すのかがわからない、お願い致します。</p>
小幡参事	<p>その件につきましては、今はアウトリーチ型ということで学校に出かけて行っています。昨年度3名でスタートするはずでしたが、人が見つからずに結局2名で、そこに通所が入ると、スタッフを見つけるのは非常に厳しいという部分がございます。玖珠町も聞くところによると非常に厳しいので両町で力を合わせていくとしています。その他にスクールサポーターは、それぞれの町で県の支援を受けてやっていますので、スタッフさえ揃えばという気はしています。</p>
佐藤テイ子委員	<p>今の方が良いかなと思います。3人じゃなくて2人でも今は十分かなと思っています。玖珠町とのことを考えると、そうなのかなとも思います。</p>
時松課長	<p>その他ご意見は。では次に社会教育関係を日野課長が説明します。</p>

日野課長	【議題3の②を資料に基づき説明】
時松課長	平成30年度社会教育関係の主要事業についてご説明をしましたがけれどもご意見等があれば。
佐藤住子委員	東飯田公民館の建設は、研修センターのところですか。
日野課長	建設予定地は、旧東飯田中学校跡地になっています。
甲斐委員	図書館の稼働率というか、利用率はどうなっていますか。
日野課長	貸出し冊数が、年間3万5千から3万8千冊、貸出し人数としては8千人ぐらい、来場者数は先ほど言いましたように1万2千人から1万3千人です。県立図書館の本は3ヶ月に1回、3百冊くらいこちらに持って来て貸出しをしています。
時松課長	その他ご意見は。それでは議題1・2・3全てを通してご意見等があればいただきたいと思います。
日野町長	今日通して少し気になったのは、いじめの問題も含めてやはり窓口が有るのと無いのでは、子供の状況が違くと、先程も少し話がありましたけど、各学校に無いと問題を解消しにくいと考えているのか教えていただきたい、考え方だけでいいです。
小幡参事	いじめにつきましては、各学校は保護者との中で解決しているというのが実態ですので、ほっとスペースの方について相談はございません。不登校につきましては、昨年度は、中学校で保健室登校というのが多かったです。小学校でも1人いましたけど、養護の先生しか付けないという状況もあります。それと少し学習環境を変えてほっとスペースで少し勉強をし、エネルギーを蓄えて戻る。そこでずっと過ごすわけではなく1次的なものです。あと今年通所は0ですけど、学校の対応によっては不登校のきっかけになるというのが、やはり全国でも報告されていますので、そこできちんとした対応をするための先生達の支援という意味で、今各学校に行ってアドバイスしている状況で、学校からは、非常にありがたいと聞いています。
日野町長	場所の支援ではなく、人の支援という事ですね。 わかりました。
吉光委員	九重町で良いところは普通学校で支援員がいてくれる。支援校に行かなくて

<p>佐藤住子委員</p>	<p>すむので、とても良い事だなと思います。今日、こども園の先生も言ってきましたが、保護者も受け入れるのはきついと思います。おかしいのではないですかと言われる事を、受け入れられるかどうか。一度病院に連れて行ったらどうですかと最終的にはなると思います。病院の先生が、どうもおかしいですよと言われ、保護者の理解で、皆で見守ってあげようと言ってあげられればすごく大きい。</p> <p>今後、人的なフォローを考えていただけるといいかと思います。</p> <p>C 小学校の支援学級に 1 人行っていましたけど、先生が好きだから学校に来るのが楽しいと言っていました。保護者の心配を無くすため、みんなと分けるのではなく、一緒になれるよう支援するのですから、カウンセラーの先生に助言を頂いたらどうですかと持っていく、非常に難しいと思いますが、出来ることは最大限に育てていきたいと私は思っています。</p>
<p>4 閉会 時松課長</p>	<p>その他。よろしいですか。</p> <p>(なし。)</p> <p>それでは貴重なご意見をいただきました。</p> <p>新年度に向けて提言いただいたことに対し、取組を行っていただきたいと思えます。</p> <p>これをもちまして、九重町総合教育会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>